まきばでひとやすみ。

確か、2年前のこのコラムで私がサンタクロースの正体を母から打ち明けられ衝撃を受けた話をしたかと思います。それが小4か小5あたりのことでした。我が家の長男も小5になりました。しかし、あの頃の私と同じく、恐らく何の疑いもなく信じています。私は自分のショックと重ねてしまい今年も打ち明けることなくクリスマスを迎えようとしています。いつかは彼も誰かのサンタクロースになることを想いつつ、どう伝えるのかは非常に注意を払わなければいけない、と思っています。先日ネットのニュースで「サンタさんはコロナの影響を受けないのでプレゼントの心配は無用、とWHOが発表」という記事を見かけ、非常にほほえましい気持ちになりました。WHOが！サンタクロースにはCOVID-19の免疫があり、とても健康だと！そして世界中のリーダー達に「サンタクロースの検疫措置を緩和し、トナカイで領空内に入ることを許可するよう」伝えてあると言うのです！立派な大人達が真面目に子ども達へそんなメッセージを発したことを何だか楽しく嬉しく思ったのでした。とても優しくて大きな愛を感じました。ところで、サンタクロースに直接会ったことも話したこともないけれど絶対に信じて疑わない気持ち、というのは信仰と似たようなものだなと思いました。私達は神様を見たことも直接話したこともないけれど、いると信じている。でも世の知識や常識など触れていくうちにふとそれが揺らいでしまうことがある…(少なくとも私はそうでした)、だからこそ信じて疑わない〝幼子のような心〟がとても尊いもので、イエス様が言われた言葉の重みを実感するのでありました。そして目に見えない神様が間違いなくいるということ、そして私達を愛しているということを見える形で示して下さったのがイエス様をこの世に送ったという事実なんですね…クリスマスって本当に素晴らしい喜びの日だなあ！と改めて思います。すぐ疑い揺らいでしまう弱い人間への大きな賜り物。少しでも多くの人にこの朗報が届きますように！